

## 4 令和4年度 学校経営報告

東京都立光丘高等学校長 瀧本 秀人

### 1 令和4年度の取組目標と方策

#### (1) 学校経営

##### ア 組織

##### (ア) 教育職員

◆生徒の進路実現に向けた学習指導を展開し、良好なコミュニケーション、教員の協働、同僚性の高い組織環境のもと、一丸となって学校経営上の課題解決に取り組む。自己研鑽に励むとともに、人材育成を目指したOJT活動を推進する。ハラスメントやサービス事故のない職場を維持する。

- ・学校経営計画、分掌目標、職層に沿った明確で具体的な目標を立て、その達成に向けて力を発揮するため、達成時期、数値目標等を自己申告書に明記し、達成に向けて計画的に取り組む。
- ・新たな課題、解決方法を積極的に発見し、解決案を提示する。・校内研修、企画調整会議、職員会議等による教育課題の共有化。・ライフワークバランスの取組の推進。
- ・企画調整会議での議論の活性化による学校経営の一層の充実・改善。
- ・体罰や個人情報漏洩等のサービス事故の防止。・全教職員が互いに人材育成に積極的に取り組み、互いの能力開発に努める。
- ・若手教職員が主体的に自己研鑽に励み、自信を持って学校教育や学校運営に当たれるようになるために、主幹教諭、主任教諭、経験豊富な教諭は自己申告書に人材育成に関わる目標を明記する。
- ・若手教員の研修計画に基づき、各主幹教諭は専門分野の指導を計画的実施。
- ・ITによる業務の効率化による職員の業務の負担軽減。・統合型校務支援システムや採点支援システムの適切な利用。

##### (イ) 行政職員

◆適正な予算編成と執行などの財務管理及び安全な教育環境の維持・管理を徹底するとともに、学校経営を支える企画提案に取り組む。また、ハラスメントやサービス事故のない職場を維持する。行政職員の学校運営への参画

- ・中期的な視点に立脚した自律経営推進予算の編成と効率的執行。・学校における働き方改革プランに基づき、ライフワークバランスの実行を進めるため、計画的な仕事の進め方により業務の効率化を図る。
- ・副校長と連携し、遅滞のない計画的な業務を進める。また、校内施設・設備の安全点検と増改修推進のための支援センター、高等学校教育課との折衝。
- ・教員と経営企画室との連携、意思疎通を進め、双方にとって効率的な業務改善を行う。

##### イ 施設・設備組織

◆施設・設備を安全に維持・管理するとともに、その充実・改善を図って教育効果の一層の向上を図る。

- ・施設・設備の安全確認・点検等を定期的に行うとともに、改修や改善を要する施設・設備については増改修要望を利用して学校経営支援センターや営繕課と連携して教育環境の維持改善及び向上を図る。
- ・複数年度にわたる中期的計画の作成。・感染症予防対策のための施設設備の改善充実及び衛生管理用品の十分な確保。
- ・IT機器の整備や更新による充実。
- ・ITによる業務の効率化に伴う職員の業務の軽減とライフワークバランスの実現を図る。
- ・校費縮減に伴う校内予算の精選と重点支出の設定。

## (2) 学習指導・進路指導

### ア 学習指導等

#### ◆卒業までにできるようになる力（ディプロマ・ポリシー）を見通した学習指導。

- ・学習や進路に関する教員の期待の表明・生徒の深い学びと学力の定着を図る授業計画の作成・アクティブラーニング型授業の利用の促進。自学自習の支援。・教員相互の授業見学の実施
- ・教員一人ひとりの授業力を高めるため、「生徒が主体的に活動する場面を含む取り入れた授業（主体的・対話的で深い学びを目指す授業）」の展開。
- ・学習到達目標の明示。
- ・授業改善に関する情報を共有する研修会を計画的に行い、全員参加で授業力を高め合う。
- ・教科会の充実。
- ・「学びの基礎」プロジェクト研究協力校から得る分析結果を学校全体で共有し、自校の弱点を把握。また、「読解力向上」「自ら学ぶ力」を育成するための授業を実施。
- ・自宅学習に意欲的に取り組む生徒を育てるため、生徒が主体的に取り組むことが期待できる授業方法、予習
- ・復習方法を全教員が考え、授業で実践する。
- ・生徒に定期的、計画的に課題を出し、課題と授業の連動を高め、生徒の成功体験を積み重ねる。・教科間で指導計画に基づく課題の量と内容を調整し、生徒が学習の見通しを立てられるようにする。・生徒の「読解力」及び「自ら学ぶ力」の向上のために、有識者（大学教授）、教育庁関係者と連携し、研究仮説に基づく授業を行い、必要な調査及び結果分析を行う。
- ・日本語検定等各種検定
- ・診断テストの結果分析による生徒の特性把握。
- ・ICTを積極的に活用し、教材の活用方法を研究する。
- ・進路希望に沿った、長期休業期間中の講習。
- ・観点別評価の在り方と検討・検証し、各教科が到達目標を明確にして、学力向上に取り組む。

### イ 進路指導

#### ◆広い視野と挑戦心の育成を図る。

- ・将来の進路決定のために深い学びと幅広い教養を身に付けさせる指導。・進路、学年、教科等の連携を深め、組織的な進路指導体制の構築。
- ・早い学年段階から進路意識を高める工夫を取入れ、高い目標を持たせる。外部講師による生徒向け進路講演会を実施し視野を広げる。また面談や出願校指導に活用。
- ・高大接続改革、大学入学共通テストの対策について適切に対応する。
- ・主体性の涵養を図る。
- ・ポートフォリオを利用した振り返りによる意識の向上。・英語4技能習得のための実践的指導を行う。
- ・学習や進路に関する取組みを計画的に配置し、生徒が積極的に活用するよう支援する。
- ・模擬試験等の結果を活用して、生徒全体の学習理解度を分析し、授業に反映する。
- ・個々の生徒の進路指導や二者・三者面談の実施。・高大接続改革等に対し、情報の収集に努め、適切な対応を進める。

## (3) 生徒の健全育成と心身の健康

#### ア 健全育成

◆**社会人として公共心、道徳心を涵養し、規律・規範の育成や社会貢献の意識の醸成を図る。**

- ・ 基本的な生活習慣の確立、時間管理の意識向上を図る。・ 授業、部活動、ホームルーム活動をとおしてコミュニケーション能力を育成する。
- ・ チャイム着席を励行し、授業に集中する環境や意識を向上させる
- ・ 身に付けるべき社会性を育成する。
- ・ 時間の順守（遅刻防止）、身だしなみ、挨拶の励行を指導の重点とし、生徒部と学年が協力して効果的な指導を図る。
- ・ 組織的な清掃と美化活動の指導を徹底する。
- ・ 携帯電話の活用に関する意識の向上を図る。特に SNS の適切な活用とゲーム等への依存防止の指導を、セーフティ教室等を通じて繰り返し行う。
- ・ 交通安全教室を通じて、交通ルール遵守の意識を高める。特に自転車事故の防止に努める。
- ・ 2022年4月より成人年齢が18歳に引き下げられたことを受け、投票行動や政治への関心を持つよう主権者教育の充実と、消費者教育の充実を図り、社会性を高校段階において十分に培う。

#### イ 心身の健康

◆**心と体の健康を守り、安心して学校生活を送られる環境づくり。**

相談、支援体制の一層の強化を図るとともに、生涯にわたる健康維持、増進に必要な基礎知識を育成する。

- ・ 生徒の心身に関連する委員会の効果的な開催による生徒の支援を行う。
- ・ 食育リーダーを中心とした食育の推進。
- ・ SC、特別支援教育コーディネーター等を活用した研修会の開催。
- ・ いじめ、体罰を発生させず、生徒が安心して学校生活を送れる環境作り。心身の不調等、生徒の変化に機敏に気づき、学年や管理職と情報を共有して、早期対応に努める。
- ・ SC 及び保護者との連携。
- ・ ケース会議において、合理的配慮について教員全体で理解を深める。生徒の変化に機敏に気づき、情報を共有して、早期対応に努める。
- ・ 特別支援教育に関して教員全員が理解するための研修会を実施。
- ・ 生徒間で互いを尊重する意識や共生の意識を育て、安心で安全な学校とする。
- ・ 生徒の変化を見逃さず、ケース会議等に伝え、迅速に対応する。
- ・ 発達障害の理解、教員のカウンセリング能力の向上と相談体制の充実。・ 外部機関との連携

#### (4) 特別活動

#### ア 行事等

◆**学校行事を通して、情操を豊かにするとともに、健全な帰属意識を醸成する。また、ホームルーム活動等をとおして、お互いに高め合う集団を育成する。**

- ・ 生徒の一体感、自己肯定感、自尊感情を高めるための場作りと指導を実践する学校行事、生徒会活動、委員会活動、ホームルーム活動、外部ボランティアなどでの、生徒の活動が生徒間で見える取組を実施。
- ・ 文化、芸術に親しむ行事、防災に係る活動に親しむ行事、体育活動に親しむ行事、読書活動に親しむ行事、主権者意識を高める行事の実施。
- ・ 18歳での選挙権行使などを見据え、早い学年から社会参加意識を高める。
- ・ 修学旅行における平和学習実施。・ 生徒主体の活動の計画・統合型学習支援システムを活用した行事ごとの振り返り。
- ・ TOKYO2020 をレガシーとして、引き続きボランティアマインドの育成に取り組む。

#### イ 部活動

<p>◆部活動への積極的な参加を奨励し、心身の健康を増進し、文化教養を高める。地域に貢献する社会性の涵養を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・部活動への参加を奨励し、文化活動や体育活動をとおして、生涯にわたり健康で文化的な生活を送るための基礎を培う。</li> <li>・主体性のある生徒を育成するための指導スキルを身に付け、特別活動や授業でその力を発揮する。・部活動等では計画的なミーティングを実施。</li> <li>・事故等の未然防止と万一の場合の適切かつ迅速な対応の徹底。</li> <li>・顧問教諭や関係教諭、スクールカウンセラー等による面談等を実施し、部活動生徒をサポートする。</li> <li>・公式戦参加奨励や公的発表会等への参加支援。</li> <li>・外部指導員の配置の検討。</li> <li>・部活動をとおして地域の学校や他校との部活動をとおしての生徒同士の交流活動の展開。</li> </ul>
<p>(5) 地域貢献</p> <p>◆保護者・地域との絆を深めることによる応援者の獲得</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事故等の未然防止と万一の場合の適切かつ迅速な対応の徹底。</li> <li>・顧問教諭や関係教諭、スクールカウンセラー等による面談等を実施し、部活動生徒をサポートする。</li> <li>・公式戦参加奨励や公的発表会等への参加支援。</li> <li>・外部指導員の配置の検討。・部活動をとおして地域の学校や他校との部活動をとおしての生徒同士の交流活動の展開。</li> <li>・SDG'sの観点から地域の課題を発見する。・NPOなどの外部機関と連携して映像作品や出版物を作成する。・光が丘地区祭への参加。</li> </ul>
<p>(6) 広報活動</p> <p>◆教育活動の広報を通して、地域社会や地域の学校に本校の教育活動への理解を深めてもらうとともに、より学ぶ意欲の高い生徒の募集を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本校の教育活動を、機を逃さずタイムリーに紹介する。</li> <li>・ホームページや屋外掲示板を適切に管理し、更新する。</li> <li>・学校説明会では生徒に行事などの取組みを紹介させる。</li> <li>・夏期学校見学会以外に、光陵祭に個別相談会を実施する。</li> <li>・学校紹介映像を作成する。</li> <li>・学校ホームページの充実及び Twitter 等の活用により、行事や部活動等の教育活動の情報発信を実施。</li> <li>・幅広く（対象及び地域）本校の魅力を広報し、中学生の選択肢に本校を加える。</li> <li>・広報活動を全員で行い、教員自身が光丘高校についての真の理解者となる。</li> <li>・全教員で広報活動に参加協力。教員全員が本校の方針、特徴、具体的取組み等について説明できるようになる。</li> </ul>

## 2 成果と課題

<p>(1) 学校経営</p>
<p>&lt;成果&gt;</p> <p>ア 組織</p> <p>(ア) 教育職員</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企画調整会議を中心として学校経営上の課題解決に取り組むことができた。また、新型コロナウイルス感染拡大防止に対応するための方策について、企画調整会議を中心に教職員一致で迅速</li> </ul>

<p>に対応できた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・若手教員の人材育成に、管理職からの研修を初め、全職員が積極的に協力し研鑽に励めた。</li> </ul> <p>(イ) 行政職員</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各階トイレの人感センサーによる自動点灯・消灯機能を設置。手洗い場の自動給水を設置した。</li> <li>・新型コロナウイルス感染拡大防止対策のための予算を捻出し、有効に活用できた。</li> <li>・オンライン授業に対応するための備品等を迅速に購入できた。</li> </ul> <p>イ 施設・設備組織</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安全確認・点検等を定期的に行うとともに、改修改善を要する施設・設備について、所管の学校経営支援センターとの連絡・調整を行った。</li> </ul> <p>&lt;課題&gt;</p> <p>ア 組織</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校経営方針を踏まえ、教育活動の一層の成果を上げるために、進路実績充実に資する専門性の一層の向上に努める。</li> <li>・次期学習指導要領を見据えた教育課程の改善を進めた。また、グランドデザイン達成のための具体案を検討していく必要がある。</li> <li>・個々の生徒に応じた学習指導や相談の展開が、一定程度できた。</li> </ul> <p>イ 施設・設備組織</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・老朽化する校舎等全体の修繕をTEPROと連携して迅速に対応したい。2年2組に冷房、2階男子トイレの小便器の故障。</li> </ul>
<p>(2) 学習指導・進路指導</p> <p>&lt;成果&gt;</p> <p>ア 学習指導等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単元ごとの到達目標を設定、教科会での進捗状況の確認・調整も行った。</li> <li>・TOKYO教育DX推進校の研究を通して、教育活動のICT化を推進できた。</li> <li>・多くの教員のアクティブラーニング等の手法を用いることにより、対話的な深い学びに結びついている。</li> </ul> <p>イ 進路指導</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・四年制大学及び短期大学への進学者数を伸ばせた。</li> <li>・就職希望者に対しての面接指導を丁寧に繰り返し、17人の就職希望者全員の就職を達成した。</li> <li>・進路ケース会議を学年ごとに年2回実施し、実力テストの分析をし、指導方針を検討した。</li> </ul> <p>&lt;課題&gt;</p> <p>ア 学習指導等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業改善と個々の生徒に対応した補習・講習の一層の充実</li> <li>・TOKYO教育DX推進校を見据えた教育データ利活用の研究</li> <li>・成果の挙がっている指導方法等を教科・学年で共有</li> </ul> <p>イ 進路指導</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日常の学校生活の中から面接時における受け応えができる対応力の育成</li> <li>・長期休業期間中の講習を生徒の進路希望別の内容で実施</li> </ul>
<p>(3) 生徒の健全育成と心身の健康</p> <p>&lt;成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ケース会議兼学校いじめ対策委員会」を毎週開催し、支援を必要とする生徒の情報を管理・共有し、指導・育成に役立て、継続的に生徒・保護者を支援した。</li> <li>・スクールカウンセラーを活用し、生徒のみならず、保護者のカウンセリングも行えた。</li> <li>・YSWと連携して生徒を救えた。</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>アンケートによるいじめ等に関する調査を年3回実施し、未然防止・早期発見に努め、自他の生命や人権を尊重する豊かな心や態度の育成を図ることができた。</li> </ul> <p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な生活習慣の一層の定着</li> <li>相談体制の一層の充実と生徒情報の共有</li> <li>欠席の多い生徒へのスクールカウンセラー等を活用したメンタルケアの一層の支援</li> </ul>
(4) 特別活動
<p>&lt;成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>活動の加入率は、70.8%と、多くの生徒が部活動に熱心に取り組んだ。</li> <li>剣道部が東京都ベスト8に入賞</li> <li>茶道部が東京総文祭で全国レベルの活躍を行った。</li> </ul> <p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>部活動加入率の低迷。中学時代も十分な部活動ができず、加入率が低迷している。</li> <li>新型コロナウイルス感染防止状況下での部活動の在り方。</li> <li>怪我の未然防止策の徹底や事故が起きた際の迅速かつ適切な対応。</li> </ul>
(5) 地域貢献
<p>&lt;成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>今年度はコロナが落ち着いてきたことから各種地域の行事に参加できる機会が増えた。光が丘祭には、吹奏楽部、写真部、美術部、書道選択者、生徒会などが参加し、地域との連携を深めた。</li> </ul> <p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域施設と連携した行事の一層の取組</li> <li>地域の団体との連携</li> </ul>
(6) 広報活動
<p>&lt;成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学校説明会、授業公開をコロナ感染対策を行いながら開催し、広報活動の充実を図った。</li> <li>公式Twitterやホームページを活用して、教育活動の特色等を発信した。</li> </ul> <p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>男子生徒は募集人員を超えて倍率が出たが、女子生徒の応募数が低迷している。</li> <li>電子データ（動画等）を活用した広報活動の充実</li> </ul>

### 3 学校評価

(1) 保護者（27項目の設問）
<ul style="list-style-type: none"> <li>高く肯定された項目は「学校は授業時間の確保に努めている」と「頭髪指導を理解し協力している」の2項目である。とくに、生活指導は「厳しい」と一部の保護者の声もあるが、大方の保護者は肯定的であることが分かる。</li> <li>その反面、肯定的な数値が低い項目は「学校の教育目標を知っているか」と「きめ細やかな教育相談（生徒面談、三者面談）を行っている」の数値が60%前後しかなく低い。特に後者の教育相談や生徒面談は面談期間を設けて対応しているにもかかわらず、低い数値が出ていることについて今後も分析していく必要がある。</li> <li>「学校行事に積極的に参加している」の数値が85%を超え、行事ができるような環境に戻り始めていることが学校として大変喜ばしい。</li> </ul>

(2) 生徒

- ・入学理由はどの学年も、①「成績」②「通学」③「学校行事」となるが、保護者の場合は3位に「環境」がはいっていたり、生徒アンケートでは低い数値の「きちんとした生活指導」の数値が高かったりしている。
- ・生徒が高く肯定している項目は「教科書や授業内容は、生徒の学力にあっている」と「学校は3年間を見通した指導計画に基づき、各学年に応じた進路指導を行っている」である。
- ・習熟度別授業については英数とも80%前後の高評価である。逆に肯定具合が低いのは「先生は生徒による授業評価を活用し、授業改善を行っている」である。しっかりと、課題として受け止めたい。
- ・1学年の行事に対する満足度が90%を超えているのは、いかに中学時代に行事ができなかったのかを物語っている気がする。

(3) 地域の意見

- ・年々評価は上昇している。落ち着いた学校。満足する学校という評価が80%を超えている。
- ・特にマナーや服装・頭髪についての指導は100%に近い肯定的な結果である。